

# 「日本地すべり学会 第 63 回研究発表会 若手優秀発表賞」 受賞について

先日、仙台で開催されました「日本地すべり学会 第 63 回研究発表会」において、当センターの 2 件の発表が、若手優秀発表賞を受賞しました。

発表題目：由比地すべりにおける不規則波形を有するせん断層の推定

受賞者：宮城 昭博

研究成果の概要：本発表は、地震時の斜面の挙動を弾塑性 FEM を用いた解析で評価するため、解析でモデル化するすべり面(せん断層)の厚さを原位置せん断試験により設定したものである。すべり面(せん断層)の厚さが不明瞭な場所で試料を採取した試験の結果、試験後に計測されたせん断面の凹凸形状より規則波形に変換した上で厚さを推定できることを示した。

発表題目：3次元モデルを活用した月山地区における対策工効果予測(その 2)

受賞者：宮澤 駿太郎

研究成果の概要：本発表は、地すべりの 3次元モデルを構築し、浸透流解析を行ったものである。解析の結果、今後実施予定の地下水排除工の効果の予測値が得られた。また、最新の調査・観測データを反映してモデルの解析精度を高めることにより、対策工の効果予測を行いながら、より適切な対策工の実施が可能であることを示した。



今後とも、当センターでは、地すべりに関する自主研究等の成果について、学会等での発表に取り組み、技術者の育成や技術力の向上に取り組んでまいります。

若手優秀発表賞とは

日本地すべり学会が、「若手研究者の研究奨励の一環として、研究発表会において優れた発表を行った若手研究者を表彰する」もの。(日本地すべり学会 ホームページより)

(関連リンク)

[第 63 回\(2024 年度\)研究発表会 若手優秀発表賞 受賞者\(日本地すべり学会\)](#)